



2023年2月13日

各位

会社名 : 株式会社大泉製作所
代表者 : 代表取締役社長 佐分淑樹
(コード:6618 東証グロース)
問合せ先 : 取締役管理本部長 鶴本貴士
(TEL:04-2953-9211)

(訂正)「2023年3月期第3四半期 決算説明補足資料」の一部訂正について

2023年2月10日に公表した「2023年3月期第3四半期 決算説明補足資料」において、記載内容の一部に誤りがありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由・内容

「2023年3月期第3四半期 決算説明補足資料」の提出後に記載内容に誤りがあることが判明したため、提出後の「2023年3月期第3四半期 決算説明補足資料」の訂正を行うものであります。

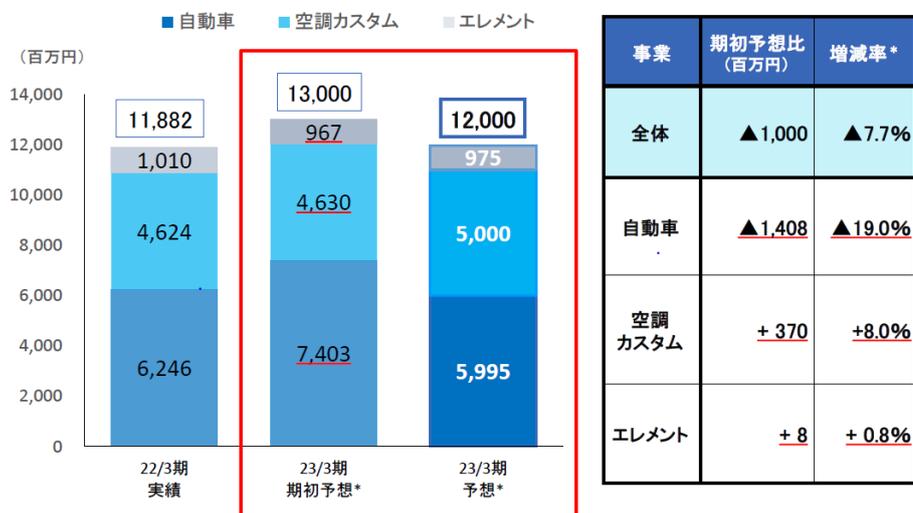
つきましては、次ページのとおり下線で示した箇所を訂正いたします。

【訂正箇所】

① 8ページ「2023年3月期 通期売上高予想」

【訂正前】

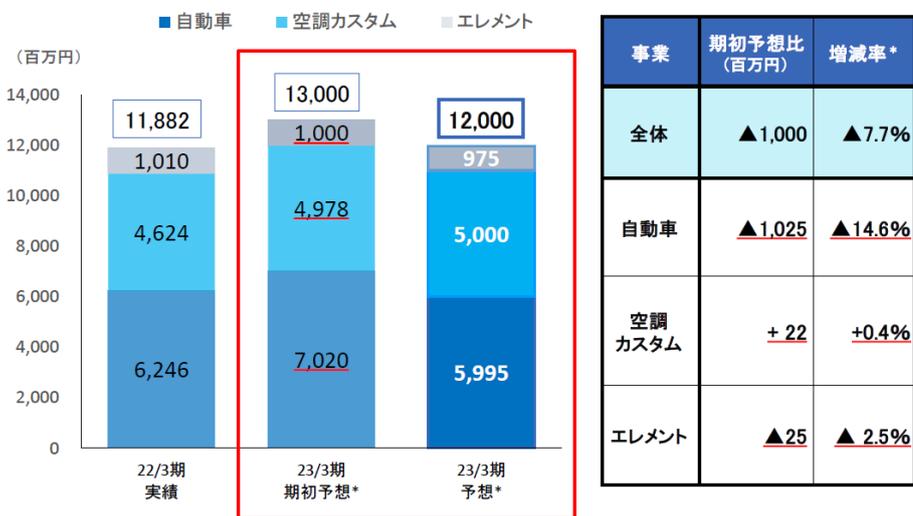
2023年3月期 通期売上高予想 OHIZUMI



※ 23/3期期初予想は、2022/5月の公表値を記載しております。
 ※ 23/3期予想の合計額には株式会社フェローテックHDに対する技術指導料30百万円を含んでおります。

【訂正後】

2023年3月期 通期売上高予想 OHIZUMI



※ 23/3期期初予想は、2022/5月の公表値を記載しております。
 ※ 23/3期予想の合計額には株式会社フェローテックHDに対する技術指導料30百万円を含んでおります。

※参考として、上記訂正を反映した「2023年3月期第3四半期 決算説明補足資料」を添付いたします。

以上

2023年2月10日

2023年3月期 第3四半期 決算説明補足資料

センサで世界を測る、未来を拓く。

OHIZUMI

株式会社大泉製作所

- 前年同期比増収となるも、
外部環境悪化や成長投資推進により収益は減

【売上】 9,232百万円(前年同期比104.1%)

- 期初からの空調・カスタム事業の好調と円安効果
- 上期増収も、3Qは車両減産や中国市況の悪化等で減速

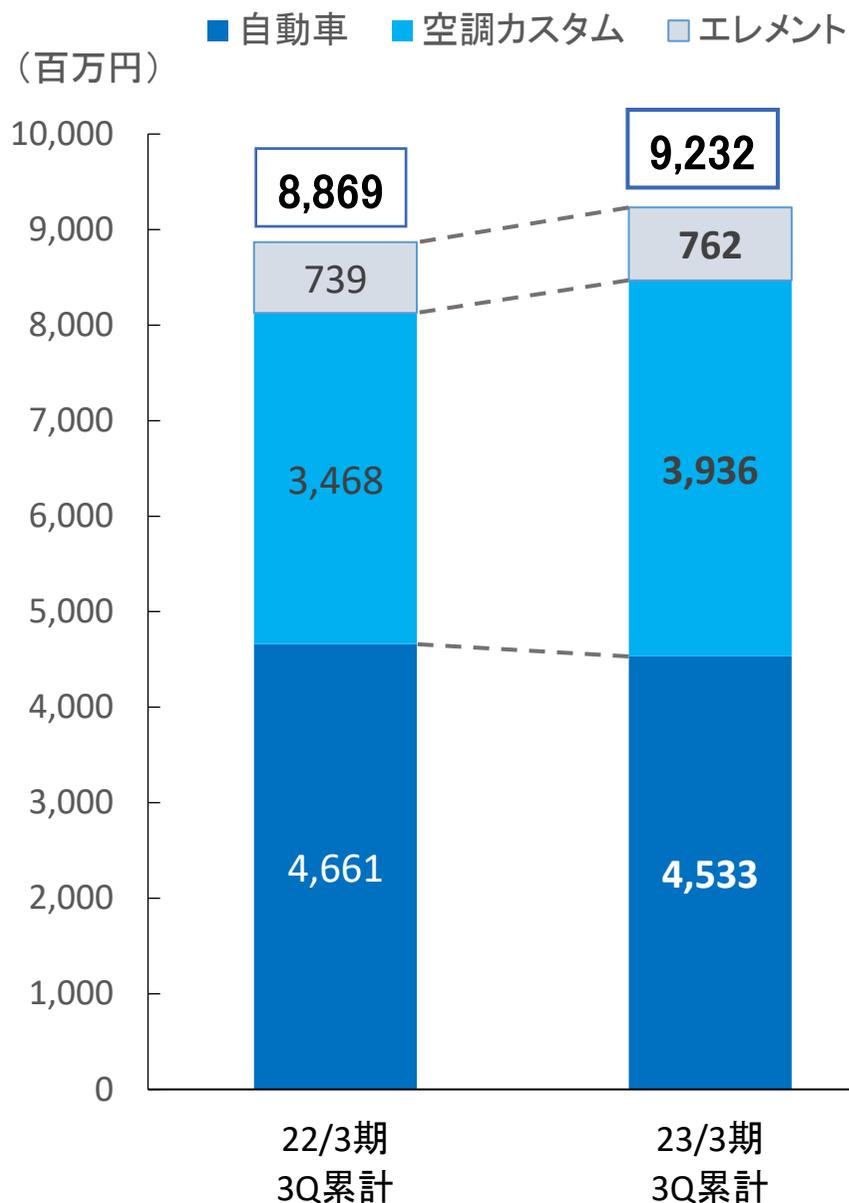
【収益】 営業利益 332百万円(前年同期比71.3%)

- エネルギー価格上昇や成長投資の推進によるコスト増
- 受注減を見据えた操業度の引き下げで固定費の効率性が低下

単位:百万円

	22/3期 3Q(累計)		23/3期 3Q(累計)		
	実績	売上高比	実績	売上高比	前年同期比
売上高	8,869	100.0%	9,232	100.0%	+4.1%
売上原価	7,014	76.0%	7,382	80.0%	+5.3%
売上総利益	1,855	20.1%	1,849	20.0%	▲0.3%
販管費	1,388	15.0%	1,517	16.4%	+9.3%
営業利益	466	5.1%	332	3.6%	▲28.7%
営業外損益	▲63	▲0.7%	114	1.2%	—
うち為替	▲34	▲0.4%	124	1.3%	—
経常利益	402	4.4%	447	4.8%	+11.0%
特別損益	▲2	▲0.0%	▲79	▲0.9%	—
法人税等	▲125	▲1.4%	▲186	▲2.0%	—
当期純利益	274	3.0%	181	2.0%	▲33.8%

2023年3月期 第3四半期(累計) 事業別売上高



事業	前年同期比 (百万円)	増減率	増減コメント
全体	+ 363	+ 4.1%	●自動車減収も空調カスタム、の好調でカバーし、増収
自動車	▲ 128	▲ 2.7%	●半導体不足による車両減産影響で既存品が減収 ●電動化領域は減産影響を受けるも、インド向け増加で補い前年同期比増加
空調カスタム	+ 468	+ 13.5%	●エアコン市況の好調継続 ●工作機用の需要増でカスタム部品も前年同期比増収
エlement	+ 23	+ 3.1%	●光通信用はFTTx需要、販路拡大による新規採用等で前年同期比増収

- 日本 : 電動化領域は増加も、車両減産影響が大きく減収
- 中国 : 車両減産を空調用、光通信でカバーし、増収
- ASEAN : インド向け電動化領域の増加、空調用の好調等により全事業で増収

単位:百万円

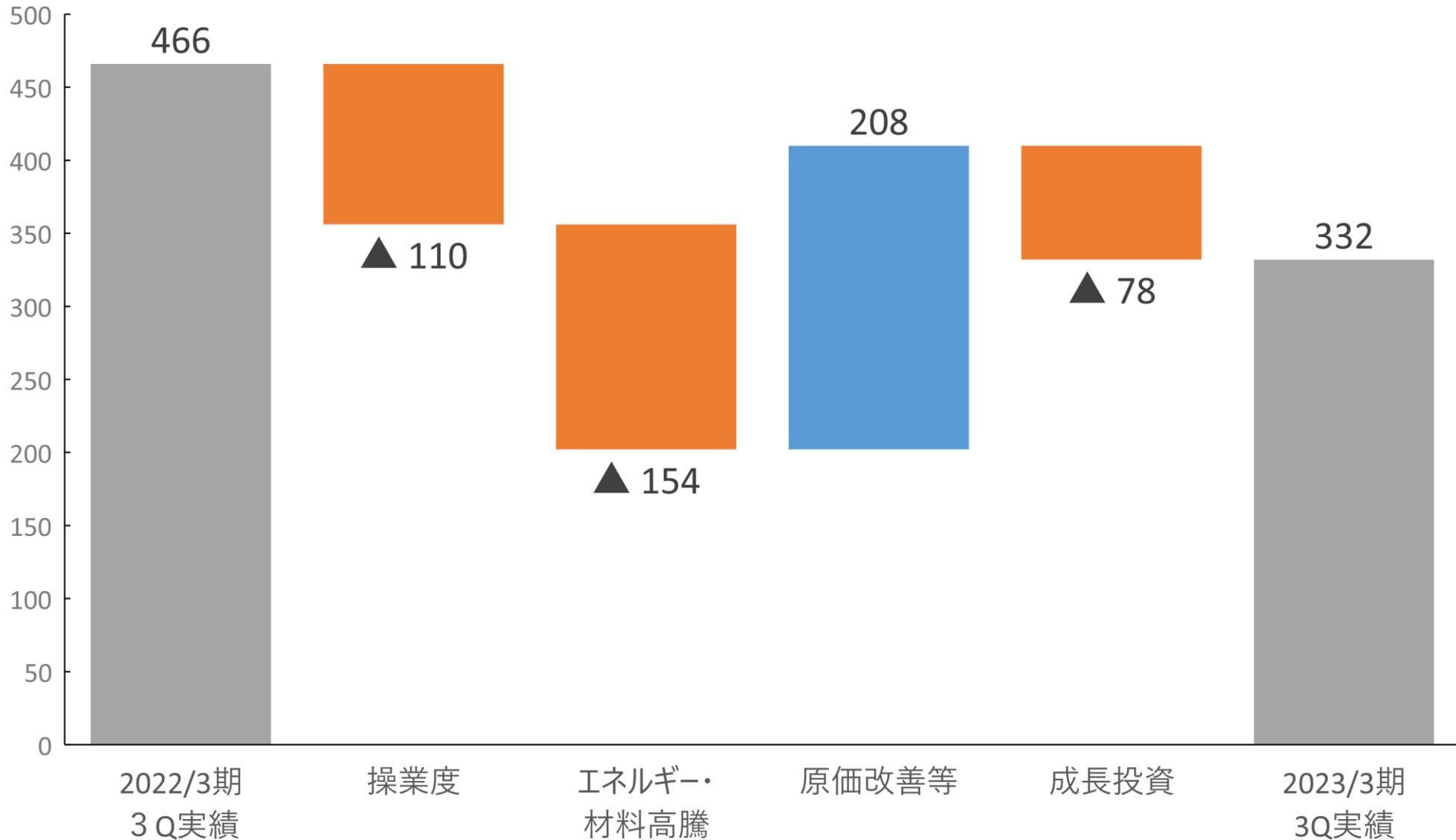
エリア	22/3期 3Q累計	構成比	23/3期 3Q累計	構成比	前年同期比	増減率
日本	3,939	44.4%	3,696	40.0%	▲ 243	▲ 6.2%
中国	2,191	24.7%	2,328	25.2%	+ 137	+ 6.2%
ASEAN (含インド)	894	10.1%	1,319	14.3%	+ 424	+ 47.4%
その他	1,844	20.8%	1,888	20.5%	+ 44	+ 2.4%
合計	8,869	100.0%	9,232	100.0%	+ 363	+ 4.1%

* エリア区分は当社の納入先を基準とし、各売上高には納入後に他国に輸出されるものが含まれます。

2023年3月期 第3四半期(累計) 営業利益増減

(百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



➤ 第3四半期実績及び車両減産影響や外部環境の変化を踏まえ、通期業績見通しを下方修正

① 売上高

- 車両生産の回復遅れによる自動車部品の減収
- 中国市況悪化、為替変動による円安効果の剥落

② 収益

- 減収と受注減による操業度の低下
- エネルギー価格上昇等、外部環境悪化の継続
- 将来に向けた成長投資は継続

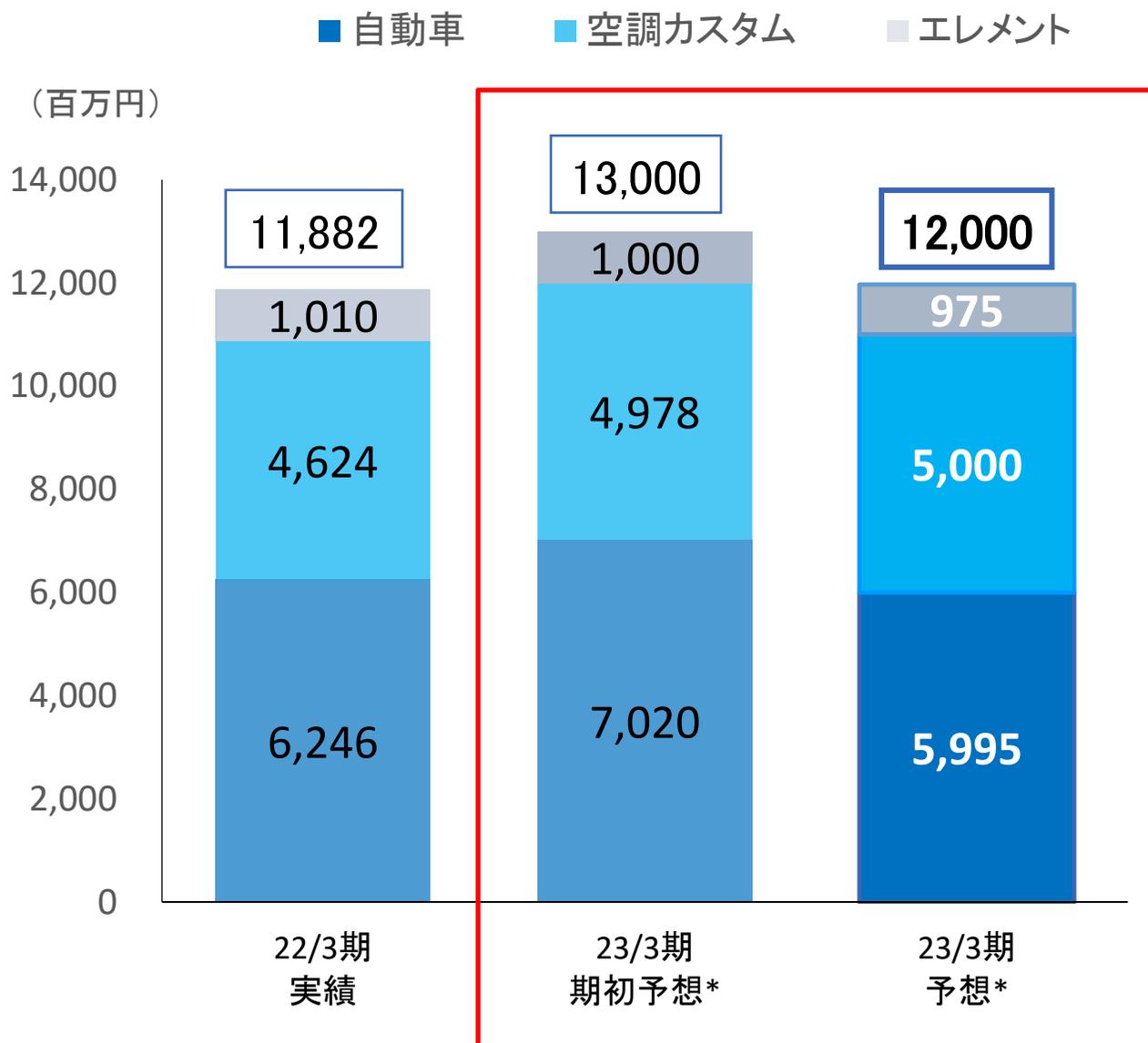
単位:百万円

	22年3月期		23年3月期(予想)					
	実績	売上高比	期初	売上高比	修正	売上高比	増減率	前期比
売上高	11,882	100.0%	13,000	100.0%	12,000	100.0%	▲7.7%	+1.0%
営業利益	598	5.0%	700	5.4%	350	2.9%	▲50.0%	▲41.6%
経常利益	536	4.5%	640	4.9%	445	3.7%	▲30.5%	▲17.1%
当期純利益	427	3.6%	480	3.7%	180	1.5%	▲62.5%	▲57.9%

* 23年3月期期初予想は2022/5月の公表値を記載しております。

* 業績予想(修正)における2023年3月期第4四半期の想定レートはUSD132.70円です。

2023年3月期 通期売上高予想

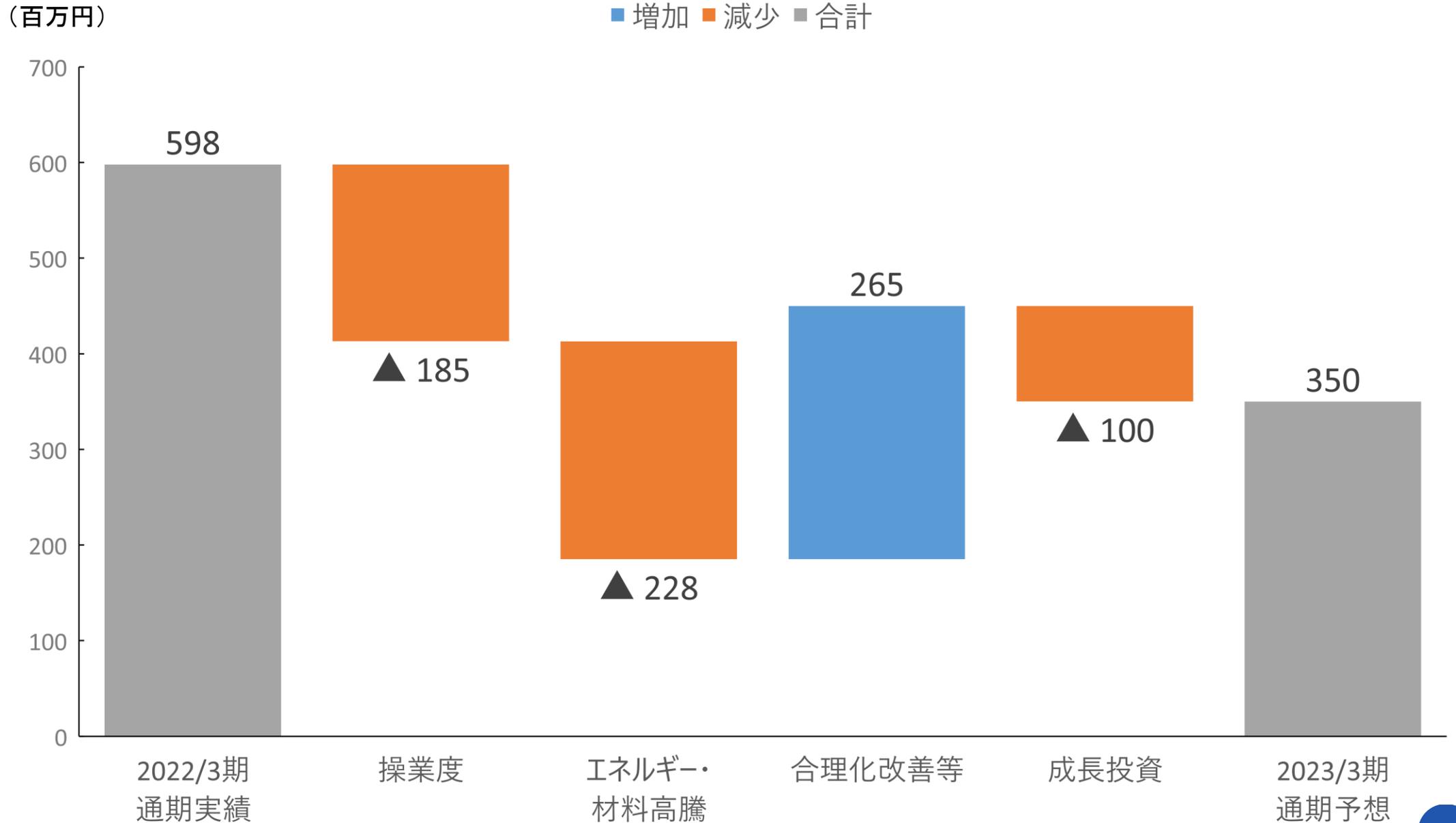


事業	期初予想比 (百万円)	増減率*
全体	▲1,000	▲7.7%
自動車	▲1,025	▲14.6%
空調 カスタム	+ 22	+0.4%
エlement	▲25	▲ 2.5%

※ 23/3期期初予想は、2022/5月の公表値を記載しております。

※ 23/3期予想の合計額には株式会社フェローテックHDに対する技術指導料30百万円を含んでおります。

2023年3月期 通期業績予想 営業利益増減



注意事項

この資料に掲載されている、株式会社大泉製作所の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。これらは、現在入手可能な情報から得ら
れた株式会社大泉製作所の経営者の判断に基づいており、内容の正確さについては細心の注意を
払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負
うものではありませんのでご了承ください。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行
われるようお願いいたします。

センサで世界を測る、未来を拓く。

OHIZUMI

IR お問い合わせはホームページからお願いします。

<http://www.ohizumi-mfg.jp/contact/>